

令和5年 10月 30日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」の策定等について

平素より産業保健活動の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、別添のとおり、厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課より日本医師会宛に、周知協力依頼がありました。

「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等の施行について」は、令和4年6月9日付け文書（日医発第510号（健I）、令和4年6月15日府医通知）をもって貴会宛に通知したところです。

事業者による自律的な化学物質管理の強化の一環として、労働安全衛生規則の改正により、令和6年4月1日から、

- ① リスクアセスメント対象物を製造し、又は取り扱う業務に常時従事する労働者に対し、リスクアセスメントの結果に基づき、関係労働者の意見を聴き、必要があると認めるときは、医師又は歯科医師が必要と認める項目について、医師等による健康診断を行い、その結果に基づき必要な措置を講じなければならないこと
- ② リスクアセスメント対象物のうち、一定程度のばく露に抑えることにより、労働者に健康障害を生ずるおそれがない物として厚生労働大臣が定めるものを製造し、又は取り扱う業務に従事する労働者が、厚生労働大臣が定める濃度の基準を超えてリスクアセスメント対象物に曝露したおそれがあるときは、速やかに、医師等が必要と認める項目について、医師等による健康診断を行い、その結果に基づき必要な措置を講じなければならないこと

が事業者には義務付けられることになっています。

今般、上記の健康診断（「リスクアセスメント対象物健康診断」）が適切に実施されるよう、事業者、労働者、産業医、健康診断実施機関及び健康診断の実施に関わる医師等が、リスクアセスメント対象物健康診断の趣旨・目的を正しく理解し、その適切な実施が図られるよう、基本的な考え方及び留意すべき事項を示した「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」が策定されるとともに、これに伴い、「労働安全衛生規則等の一部を改正する省令等の施行について」（令和4年5月31日付け基発0531第9号）の一部が改正されました。

貴会におかれましても、本件主旨をご理解の上、会員への周知方につきまして、ご高配を賜りますようお願い申し上げます

本件の概要については、厚生労働省ホームページ

(<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/001156455.pdf>) にも掲載されておりますので、必要に応じてご参照ください。

なお、日本医師会の申し入れにより、今後、産業保健総合支援センターでは、「リスクアセスメント対象物健康診断」に関する産業医からの相談に対応する予定であることも申し添えます。

●「リスクアセスメント対象物健康診断に関するガイドライン」の策定等について

https://www.med.or.jp/japanese/members/bunsyo/data3/kenko1/2023ken1_1364.pdf

※ユーザー名とパスワードでのログインが必要です。

ユーザー名：会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角で入力）です。

宛名シール下部に印刷されている10桁の数字です。

パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」を並べた6桁の数字です（半角入力）

※事務局：地域医療1課 堀田（TEL 06-6763-7012・FAX 06-6766-2875）